

最終案内

日本生活科・総合的学習教育学会



第32回 全国大会 神奈川大会

日本生活科・総合的学習教育学会会長 朝倉 淳
第32回全国大会神奈川大会会長 吉田 豊香
同実行委員長 二宮 昭夫

大会テーマ

「はやぶさ」生誕の地から

つながり合う学びの創造

問いをもち協働的に探究する子供

大会期日

令和5年6月17日(土)・6月18日(日)

新元号令和の始まりと共に全面実施となった新しい学習指導要領。しかし、ほぼ同時に感染者が報告された新型コロナウイルス感染症は、人々の生命や生活、経済や文化等社会全体に影響を与え、暮らしや働き方も変革が求められました。

その変革により、大きく形を変えざるを得なかったのが様々な「つながり」でした。「自分」「他者」「地域」「社会」「未来」これらの様々な「つながり」の変化やその重要性が顕在化し、これらの「つながり」の在り方について見直すことが社会全体に求められています。

教育界もその求めに積極的に応じていくことが重要と考えると共に、この予測困難で正解のない時代を生き抜くための資質・能力を育成し、自らの学びを創り出していく主体的な学び手を育成する核となるのが「生活科」であり「総合的な学習（探究）の時間」であると考えます。

コロナ禍を乗り越え、教育における転換期を迎えるにあたり、近地球型とよばれる小惑星「イトカワ」から表面のサンプルを、様々な困難を乗り越えて地球に持ち帰った「はやぶさ」生誕の地、神奈川県相模原市を舞台に、「つながり合う学びの創造」という教育の在り方について考えを出し合い、全国の皆様とつながり合えたらと考えています。多くの皆様のご参加を心からお待ちしております。

後援

神奈川県教育委員会 相模原市教育委員会 横浜市教育委員会
川崎市教育委員会 横須賀市教育委員会
神奈川県私立幼稚園連合会 相模原市私立保育園・認定こども園園長会

日程・会場

| | | | | | | | | | | |
|------|--|-----------|------------|-------------|--------|------------------------------------|-------------|-------------|--|------------------------|
| 第1日目 | 8:30~ | 8:50~9:40 | 9:50~10:40 | 10:50~12:00 | 12:00~ | 13:15~15:00 | 15:30~17:00 | 17:10~17:40 | 17:40~ | 18:30~ |
| | 受付 | 公開保育 | | 研究協議 | 移動 | 自由研究 発表 | 課題別研究 発表 | 総会 | 移動 | 懇親会 ※受付開始 18:30~ |
| | | 公開授業① | 公開授業② | | 昼食 | | | | | |
| | | | 理事会 | | | | | | | |
| | <公開保育・公開授業会場> ひよこ第3保育園 RISSHO KID' S きらり相模大野 認定こども園相模女子大学幼稚部 相模原市立谷口台小学校 相模原市立大野南中学校 相模女子大学高等部 | | | | | 相模女子大学 相模女子大学高等部 相模原市立谷口台小学校 | | | ※懇親会の参加につきましては、申し込みフォームから併せてお申し込みください。 | |

| | | | | | |
|------|---------------------|-------------|---------------|-------------|-----------------|
| 第2日目 | 9:30~受付 | 10:00~10:30 | 10:30~12:30 | 12:30~12:40 | ※次期開催地 との引継ぎ |
| | 9:15~9:45 地域世話人会 | 開会行事 | 全体会 シンポジウム | 閉会行事 | |
| | 相模女子大学グリーンホール | | | | |

お申込み

事前申込期間4月25日(火)から5月19日(金)まで

【大会参加費】

(一般・事前) ¥4,500 (一般・当日) ¥5,000

(学生・事前) ¥3,500 (学生・当日) ¥4,000

★5月20日(土)以降の申込みは、当日受付扱いといたします。

☆新型コロナウイルスの感染状況等により、実施内容や方法に変更が生じる可能性もあります。

(神奈川県支部ホームページをご参照ください。)

☆宿泊については、各自でご準備ください。上履き・靴入れ等もご持参ください。



【参加申込】

神奈川県支部ホームページ
【携帯版】でQRコードを読み取りお申込みください。



<https://www.kanagawa-seikatu-sougou.com/>

公開保育・授業クラス一覧

【公開①8：50～】 ※こども園・保育園は公開①②の時間で続けて公開いたします

| 会場 | 公開クラス (授業会場や協議会場が表記クラスと別の場合は記載あり) | 単元名 主な保育・授業者 | 助言者 (★の方がコーディネーターを兼ねる) |
|-------------------------|---|--|--|
| RISSHO KID'S きらり | 4、5歳児クラス (協議は5歳児クラスのみ) 保育：保育室 協議：【相模女子大】 マーガレット本館2141 | 『「恐竜」「ヘアメイク」 「お店屋さん」』 三浦円花 檜山夏帆 | ゆうゆうのもり幼保育園 港北幼稚園 渡邊英則 ★秦野市立ほりかわ幼稚園 仲原千鶴子 |
| ひよこ 第3保育園 | うみ組 (3～5歳児縦割り) 保育：児童クラブ保育室 協議：幼児保育室 | 『身近な野草を食べてみよう』 佐々木正人 | 東京家政大学 佐藤康富 ★札幌市教育委員会 笹山雅司 |
| 認定こども園 相模女子大学 幼稚部 | 3～5歳児9クラス (協議は年長さくら3組のみ) 保育：保育室 協議：ホール | 『自由遊び～翌週にお店屋さんごっこを 控える子どもたちの姿～』 福田穂奈美 | 国立教育政策研究所 堀越紀香 ★上越市立上下浜小学校 泉真理 |
| 谷口台小学校 (生活科) | 1年2組 【オンライン公開】 授業：カラフルルーム 協議：理科室 | 『めいたんてい〇〇～みつけよう！ あってみよう！やってみよう！～』 山崎善陽 | 元文教大学 嶋野道弘 ★横浜市立並木中央小学校 朽木恵梨子 |
| | 1年4組 | 『めいたんてい〇〇～みつけよう！ あってみよう！やってみよう！～』 長沼真巳 | 大分市立豊府小学校 石井真澄 ★相模原市教育委員会 東山歩 |
| | 2年4組 | 『おもちゃであそぼう』 酒井美知子 | 高知市立江陽小学校 今西和子 ★川崎市総合教育センター 山城祥二 |
| 谷口台小学校 (総合) | 3年3組 | 『自然の色を使って染め物を作ろう』 佐々木仁 | 香川県教育委員会 久利和光 ★横浜国立大学教職大学院 榮秀之 |
| | 4年3組 | 『楽しい運動でみんなとつながろう』 鈴木秀明 | 東大和市教育委員会 廣濱陽一郎 ★新潟市立新潟小学校 小川雅裕 |
| | 5年3組 | 『人とのつながり再発見 ～相模大野パワーアップ大作戦～』 畑野有香 | 宇治市立宇治小学校 伴昌也 ★相模原市教育委員会 佐々木康介 |
| | 6年4組 | 『テクノロジーを使って HAPPYになろう』 佐藤司明 | 共栄大学 小川聖子 ★相模原市教育委員会 坂下大輔 |
| 大野南中学校 | 2年全クラス (協議は2組のみ) 協議：多目的室 | 『平和な世界をめざして』 大野敏雅 杉江美聡 新野めぐみ 小林真理 瀬谷弘樹 池谷真人 | 福岡県教育庁 齋藤淳 ★横浜市教育委員会 柳澤尚利 |
| | みなみ級 (支援級) | 『南中を紹介しよう』 平野弘子 白須鉄也 生野和 | 神奈川県立座間支援学校 田中みか ★神奈川県教育委員会 二宮雄治 |
| 大野南中学校 (相模女会場) | 2年3組 【オンライン公開】 授業：【相模女子大】 マーガレット本館2131 協議：【相模女子大】 マーガレット本館2132 | 『平和な世界をめざして』 橋本涼 | 関西大学 黒上晴夫 ★相模原市立青和学園 渡邊 和典 |
| 相模女子大学 高等部 | 2年12クラス (4コース) 授業：①4Fホール ②各教室 ③LL教室 ④各教室 協議：多目的室 | 〈コース別探究学習〉 ①『未来の子どもたちに笑顔を届けるためのプ ロジェクト』 ～日本の伝統芸能「船細工」から考える～ ②『日常の『なぜ?』を科学する ～私と社会を繋ぐ探究活動～』 ③『英語で地球を考える ～世界各地の諸問題に対する解決策の提案～』 ④『The Road to A1 グランプリ』 ～根拠をもって主張を展開しよう!～ 藤井亜希子 吉田豪 横山知英 吉中舞 | 相模女子大学 池田仁人 ★神奈川県立総合教育センター 藤武和成 |

【公開②9：50～】※こども園・保育園は公開①②の時間で続けて公開いたします

| 会場 | 公開クラス (授業会場や協議会場が表記クラスと別 の場合は記載あり) | 単元名 主な保育・授業者 | 助言者(★の方がコーディネーターを兼ねる) |
|-------------------------|---|---|--|
| RISSHO KID'S きらり | 4、5歳児クラス (協議は5歳児クラスのみ) 保育：保育室 協議：【相模女子大】 マーガレット本館2141 | 『「恐竜」「ヘアメイク」 「お店屋さん」』 三浦円花 檜山夏帆 | ゆうゆうのもり幼保育園 港北幼稚園 渡邊英則 ★秦野市立ほりかわ幼稚園 仲原千鶴子 |
| ひよこ 第3保育園 | うみ組 (3～5歳児縦割り) 保育：児童クラブ保育室 協議：幼児保育室 | 『身近な野草を食べてみよう』 佐々木正人 | 東京家政大学 佐藤康富 ★札幌市教育委員会 笹山雅司 |
| 認定こども園 相模女子大学 幼稚部 | 3～5歳児9クラス (協議は年長さくら3組のみ) 保育：保育室 協議：ホール | 『自由遊び～翌週にお店屋さんごっこを 控える子どもたちの姿～』 福田穂奈美 | 国立教育政策研究所 堀越紀香 ★上越市立上下浜小学校 泉真理 |
| 谷口台小学校 (生活) | 1年1組 | 『めいたんてい〇〇～みつけよう！ あってみよう！やってみよう！～』 三橋詔子 | 新潟市立新潟小学校 三星雄大 ★相模原市教育委員会 川崎真弓 |
| | 2年2組 | 『おもちゃであそぼう』 加藤泰徳 | 海老名市教育委員会 徳山敬倫 ★逗子市立久木小学校 藤瀬哲朗 |
| 谷口台小学校 (総合) | 3年1組 【オンライン公開】 授業：カラフルルーム 協議：カラフルルーム | 『自然にある色を使って 染め物づくりをしよう』 澤田結城 | 上智大学 奈須正裕 ★横浜市立大岡小学校 紺野達也 |
| | 4年2組 | 『オリジナルオカリナで 演奏会を開こう』 澤田幸歩 | 山梨市教育委員会 嶋崎修 ★横須賀市教育委員会 渡辺真也 |
| | 4年4組 | 『ソーラークッカーで ランチを作ろう』 篠原美鈴 | ★横浜市立羽沢小学校 永野理英子 |
| | 5年4組 | 『Shall we sing? ～未来へつなぐ！谷口台のバトン～』 松元博一 | 福岡市教育委員会 三浦研一 ★相模原市教育委員会 室井泉 |
| | 6年1組 | 『相模大野を月面に！～宇宙を きっかけに谷口台小を輝かせよう～』 野村健太 | たつの市立龍野小学校 石堂裕 ★横浜市教育委員会 鈴木紀知 |
| 大野南中学校 | 1年全クラス (協議は3組のみ) 協議：体育館 | 『平和の扉を開こう』 嘉納健太郎 遠藤奈央子 太刀沢中 東條恵理 熊谷達彦 大枝由希子 小林美紀 | 久留米市教育委員会 四ヶ所清隆 ★神奈川県教育委員会 村本綾 |
| | 3年全クラス (協議は1組のみ) 協議：体育館 | 『地域の平和を実現する持続可能な 取り組みを作ろう』 遠藤竜也 古川克彦 寺田真希 土屋雅敬 竹腰育宏 吉田侑幹 小原絵美 | 郡上市立郡南中学校 三島晃陽 ★横浜市立蒔田中学校 熊切隆 |
| 相模女子大学 高等部 | 1年10クラス 協議：210教室 | 『『高校生×〇〇』 ～わたしの興味関心から始めよう～』 三箇山明希 | 静岡県教育委員会 眺野大輔 ★神奈川県立保健福祉大学 井坂秀一 |
| | 1年4組 【オンライン公開】 授業：【相模女子大】 マーガレット本館2131 協議：【相模女子大】 マーガレット本館2131 | 『『高校生×〇〇』 ～わたしの興味関心から始めよう～』 岡崎忍 | 鳴門教育大学 泰山裕 ★神奈川県立柏陽高等学校 近江一太 |

◆自由研究発表 グループ一覧 【グループ1～5】 グループ1～4は、オンラインとのハイブリッド

| 会場 | 教室 | グループ | 発表順 | 発表テーマ | 氏名 | 所属 | コメンテーター |
|-------|---------|----------|--|--|--------------------------|------------------------------|---------------------|
| 谷口台小 | カラフルルーム | 1 ハイブリッド | 1 | 生活科をつながりデザインする | 小野 怜 | 相模原市立光が丘小学校 | 松村 英治 (台東区教育委員会) |
| | | | 2 | 「人形劇」の創作により体験と表現を往還しながら気付きの質を高める生活科学習 ～第1学年「みんなでさくろう! かみくまもとえきのひみつ」の実践より～ | 坂口 静磨 | 熊本大学教育学部附属小学校 | |
| | | | 3 | 「気付きの想定表」を活用した指導と評価の一体化に向けた取組 ～2年「うごくおもちゃけんぎゅうじょ」の実践を通して～ | 菊池 勇希 | 北海道教育大学附属旭川小学校 | |
| | 理科室 | 2 ハイブリッド | 1 | 地域の人と共に創る魂のプロジェクションマッピング ～明確なゴール設定とカリキュラムの改善～ | 三石 聡美 | 横浜市立永田台小学校 | 前田 一男 (立教大学) |
| | | | 2 | 児童の地域への思いを学びとしてマネジメントする力の育成 ～寒河江・二の堰を未来につなぐ総合的な学習の時間の実践を通して～ | ○鈴木 美徳 野口 徹 | 山形県寒河江市立寒河江小学校 山形大学 | |
| | | | 3 | Imagine Project ～再発見、茅ヶ崎～ | 浅野 有 | 神奈川県茅ヶ崎市立梅田小学校 | |
| 相模女子大 | M本館2131 | 3 ハイブリッド | 1 | 伝統野菜スイゼンジナを教材としたSDGsの実現 ～中学校総合におけるICTと栄養教諭による支援～ | ○松岡 珠美 藤本 勇二 | 熊本市立西原中学校 武庫川女子大学 | 浅間 一成 (五泉市教育委員会) |
| | | | 2 | 探究的な学びを支える対話型論証の効果 | 石堂 裕 | 兵庫県たつの市立龍野小学校 | |
| | | | 3 | 「学校内外で探究学習に取り組む高校生の経験と語り ～社会へつながる学びの姿～」 | ○茂木 和佳子 松本 健義 | 新潟県立六日町高校 上越教育大学 | |
| | | | 4 | 総合的な学習の時間における葛藤による概念の形成に関する事例的研究 | 甫仮 直樹 | 上越教育大学附属小学校 | |
| | M本館2132 | 4 ハイブリッド | 1 | 幼小接続期における子どもの見取りと支援～小学校1年生に着目して～ | ○池田 明子 上田 紋佳 | 福山市立大学 北九州市立大学 | 大内 美智子 (横浜創英大学) |
| | | | 2 | 幼保小連携の指導法に関する一考察 ～「育ちのつながり」の視点から～ | 梅田 裕介 | 中部学院大学 | |
| | | | 3 | 幼小接続単元の構想2：保育士からの評価をもとにした幼小接続単元の更新 | 飯田 真也 | 聖隷クリストファー大学 | |
| | 11号館113 | 5 | 1 | 砂遊びをきっかけとした架け橋プログラムの取り組みに関する一考察 | 宗形 潤子 | 福島大学 | 江間 史明 (山形大学) |
| | | | 2 | 遊びでつなぐ幼小連携 ～いっぱいあそぼう いっしょにあそぼう～ の実践から | ○栗原 さゆり 宗形 潤子 | 福島市立福島第三小学校 福島大学 | |
| | | | 3 | 「深い学び」の実現に向けた表現活動をデザインする ～第1学年「家族のハッピー」を探究する学習を通して～ | 大塚 翔 | 愛媛大学教育学部附属小学校(愛媛大学教育学部教職大学院) | |
| 4 | | | 自分自身を見つめ、心身ともに健康な食生活を送る子供の育成 ～生活科の学校探検を通して～ | ○横山 英吏子 齊藤 和貴 | 東京学芸大学附属小金井小学校 京都女子大学 | | |

◆自由研究発表 グループ一覧 【グループ6～10】

| 会場 | 教室 | 発表順 | 発表テーマ | 氏名 | 所属 | コメンテーター |
|----------|----------|--|--|-------------------------|---------------------------------|------------------------|
| 相模女子大 | 11号館1114 | 1 | 子どもが自ら選択・決定する生活科授業の実践的研究 ～第2学年「あつまれ！2年生の森！」における教師の関わりに着目して～ | 梅野 栄治 | 広島大学附属三原小学校 | 倉本 恵 (横浜市立丸山台小学校) |
| | | 2 | 「遊び」を通じた「学び」の構造モデルを用いた「物」や「現象」と関わる児童の知識構成過程の解釈 ～小学校第2学年 生活科「物の溶け方(融解)のかがく」を事例として～ | 小谷 卓也 | 大阪大谷大学 | |
| | | 3 | 生活科における対話の質的变化 | 澤柿 教淳 | 松本大学 | |
| | | 4 | エージェンシーを発揮する生活科の授業づくり | 徳永 真衣 藤上真弓 | 山口大学教育学部附属光小学校 山口大学大学院教育学研究科 | |
| | 11号館1121 | 1 | 自らの学習を調整する振り返りの在り方 - 生活科の2つの事例分析から - | 松井 香奈 藤本 勇二 | 大阪市立吉野小学校 武庫川女子大学 | 篠原 紘子 (相模原市立大野台小学校) |
| | | 2 | キャリア教育としての生活科 | 齊藤 和貴 | 京都女子大学 | |
| | | 3 | 「学びに向かう力」を育む生活科学習 | 岩月 美智子 | 天童市立高嶺小学校 | |
| | | 4 | 児童が楽しみを見いだす生活科の授業づくり | 森田 祐介 | 鳥栖市立若葉小学校 | |
| | 11号館1122 | 1 | 「市民的資質の「芽」を育成する生活科学習-低学年が生活問題を探究することの意義と可能性」 | 佐藤 孔美 | 敬愛大学 | 赤松 理 (川崎ともしびの会) |
| | | 2 | 教職課程における「生活科」指導案作成指導に 関する考察 | 井村 礼恵 | 東京学芸大学 | |
| | | 3 | 生活科における防災学習の単元づくりに関する一考察 | 阿曾 奈生 | 宍粟市立篤沢小学校 | |
| | | 4 | 生活科の特質に考慮した情報通信技術の活用に関する研究 | 菅沼 敬介 | 福岡教育大学 | |
| | 11号館1123 | 1 | 生活科における演劇的手法活用に向けての一考察 - 教育研究及び実践のレビューを通して - | 石井 信孝 | 広島大学大学院, 福山市立大学 | 橋本 智美 (福山市立津之郷小学校) |
| | | 2 | 生活科教科書におけるビオトープの記述についての一考察 | 仙田 考 | 田園調布学園大学大学院 | |
| | | 3 | 学習の当事者として責任をもって学習に取り組む子どもが育つ生活科学習を目指して | 富山 正人 小幡 肇 津村 優里菜 | 東京学芸大学附属小金井小学校 文教大学 文教大学 | |
| | | 4 | 日本人学校生活科における栽培活動に関する調査研究 | 谷 太一 | 国際基督教大学大学院 | |
| 11号館1124 | 1 | 子どもがとことん追求したくなる魅力満点給食室 ～『調理員さんと仲良し大作戦』を支えた環境づくり～ | 藤薬 亜由美 | 横浜市立山元小学校 | 相澤 仁哉 (横浜市立初音が丘小学校) | |
| | 2 | 生活科「わたしたんけん」の実践的研究～「振り返り」に着目して～ | 真鍋 健太郎 | 静岡県御殿場市立朝日小学校 | | |
| | 3 | 子どもたちが本気で取り組む防災学習 ～第6学年「守ろう、自分やみんなの命！危機回避、防災プロジェクト」の実践から～ | 山下 千春 | 大分大学教育学部附属小学校 | | |
| | 4 | ゲストティーチャーによる「防災教育」 ～ 教科連携も大切にした中学校での取り組み ～ | 福島 信也 | 森ノ宮医療大学 看護学部 | | |

◆自由研究発表 グループ一覧 【グループ11～15】

| 会場 | 教室 | 発表順 | 発表テーマ | 氏名 | 所属 | コメンテーター |
|----------|----------|---|---|---------------------------|--------------------------------------|----------------------------|
| 相模女子大 | 11号館1125 | 1 | ツシヤママネコの生息環境づくり | 城 謙一郎 | 対馬市立豊玉小学校 | 松井 千鶴子 (上越教育大学) |
| | | 2 | 中学校総合的な学習の時間における 協働授業計画の立案と省察 ～モデル単元と協議ツールの開発を通して～ | 渡邊 一樹 | 横浜市立鶴ヶ峯中学校 | |
| | | 3 | 1990年代前半・生活科誕生期における教師のゲートキーピング ～原田三朗の「青い目の人形を調べよう」の実践を事例として～ | 白井 克尚 原田三朗 | 愛知東邦大学 四天王寺大学 | |
| | | 4 | くらしと学びをつなぐ ～生活綴方教育と現在の教育課程との連関～ | 原田 三朗 野口徹 | 四天王寺大学 山形大学 | |
| | 11号館1126 | 1 | 生活科・総合的な学習における題材としての「イネ栽培」の意義と指導の在り方 | 柿崎 和子 | 愛知教育大学 | 渡邊 大貴 (広島大学附属三原 小学校) |
| | | 2 | 個別最適化を支援する総合的な学習の時間の取り組み | 長田 悠佑 溝邊 和成 | 三田市立弥生小学校(兵庫教育大学大学院) 兵庫教育大学 | |
| | | 3 | 総合的な学習の時間における質の高い授業の実現 ～教員の気付きを促す働きかけから～ | 鹿又 悟 野口 卓也 | 福島大学教職大学院 福島市立三河台小学校 | |
| | | 4 | 江戸川区の地域性を生かした地域学習 ～理科、社会科との関連を図った指導と児童の学び～ | 柳沼 麻美 | 江戸川区立大杉第二小学校 | |
| | 11号館1127 | 1 | 総合的な学習の時間が育成する非認知的スキルの分析と考察 ～学力階層との関係に着目して～ | 加藤 智 | 愛知淑徳大学 | 渋谷 一典 (北海道教育大学) |
| | | 2 | 多様な関わりで活動を深める探究学習「Earthプロジェクト」 | 渡邊 和也 | 大阪教育大学附属平野小学校 | |
| | | 3 | 探究学習の実践校にみられる教員・生徒の協働的とりくみ | 坂口 恵美 | 兵庫教育大学大学院生 | |
| | | 4 | 総合的な学習の時間における協働の質をとらえる視点の開発 | 藤上 真弓 | 山口大学大学院教育学研究科 | |
| | 11号館1131 | 1 | 健やかな子どもの育ちのための幼小接続期のあり方に関する一考察 | 山下 奈美子 青柳 徳子 長島 万里子 | 浦安市立美浜南小学校 流山市立流山小学校 洗足こども短期大学 | 伊藤 義将 (横浜市立矢向小 学校) |
| | | 2 | 初めて総合を学習する小学3年生でも取り組めるSDGs～生活科からの滑らかな 接続を考える | 山下 奈美子 | 浦安市立美浜南小学校 | |
| | | 3 | 在来種の危機を救え！ | 青山 尚弘 | 茅ヶ崎市立梅田小学校 | |
| | | 4 | 「ふるさと」を学びの場とする大浦未来学とSDGs ～地域に学び、つながり、誇りを持てる子ども達の姿をめざして～ | 加藤 彩香 中川 靖彦 | 舞鶴市立大浦小学校 舞鶴市立大浦小学校 | |
| 11号館1132 | 1 | 資源エネルギーの視点から持続可能な社会を目指す総合的な学習の時間に関す る一考察 | 萩原 浩司 | 皇學館大学 | 鈴木 真樹 (相模原市立富士見 小学校) | |
| | 2 | 個の探究と協働的な学びの在り方 ～第6学年総合学習「バスのSDGsを実現しよう」の実践より～ | 箱根 正斉 藤本 勇二 | 西宮市立北六甲台小学校 武庫川女子大学 | | |
| | 3 | 持続可能な社会づくりの担い手として、社会に積極的に参画するために必要な 資質・能力を育成する実践型の課題解決学習 ～総合的な探究の時間を軸とした「社会に開かれた教育課程」のカリキュラム 開発～ | 黒崎 洋介 | 神奈川県立瀬谷西高等学校 | | |
| | 4 | 持続可能な開発のための学びへの変革 ～STEAMの視点からの問題発見・開発学習の実践～ | 岩本 宏幸 | 会津若松市立川南小学校 | | |

◆自由研究発表 グループ一覧 【グループ16～20】

| 会場 | 教室 | グループ | 発表順 | 発表テーマ | 氏名 | 所属 | コメンテーター |
|---------|----------|------|---|--|------------------------|--|----------------------|
| 相模女子大 | 11号館1133 | 16 | 1 | 民主主義の実践としてのカリキュラムマネジメント | 鬼塚 拓 | 宮崎大学教育学部附属中学校 | 飯干 新 (広島県教育委員会) |
| | | | 2 | 子どもとつくるカリキュラムの創造 -つながり合う学びの場を求めて- | 大畑 健二 | 信州大学 | |
| | | | 3 | 総合的学習のカリキュラムデザインにおける実践的知識の継承問題 | 緩利 真奈美 | 東京農業大学 | |
| | | | 4 | 富山師範学校女子部附属堀川小学校における戦後初期の教育実践の展開 | 山本 銀兵 | 那覇市立上間小学校 | |
| | 11号館1141 | 17 | 1 | 愛知学芸大学附属岡崎小学校における生活教育の特色 -戦後新教育期における継続と深化- | 行田 臣 | 豊川市立御津南部小学校 | 増井 雅子 (横浜市立大岡小学校) |
| | | | 2 | 「実社会との接点」を重視した総合的な学習の時間のカリキュラム開発 | 高嶋 重行 | 高槻市立丸橋小学校 | |
| | | | 3 | 主体的な学びを目指した授業の構想と実践 | 境野 仁 | 埼玉県深谷市立豊里小学校 | |
| | | | 4 | 子ども理解を深めるCRMを活用した、主体性を生かすカリキュラム開発 -コロナ禍だからこそその小学校カリキュラム・マネジメント- | 田島 裕司 | いわき市立高坂小学校 | |
| | 11号館1142 | 18 | 1 | 学校図書館を中核にした生活科のカリキュラム・マネジメント実施に向けた課題の整理 -幼小接続期の「乳」の理科読実践を通して- | 原口 るみ 大貴 麻美 | 東京学芸大学教職大学院 白百合女子大学 | 守屋 淳 (北海道大学) |
| | | | 2 | 地域の洪水対策を題材にした小学校STEAM教育の単元づくりと実践 | 藤原 達矢 尾花 和哉 森山 潤 | 兵庫県加東市立滝野東小学校 兵庫県朝来市立山口小学校 兵庫教育大学大学院 | |
| | | | 3 | 自己肯定感を育む総合的な学習の時間の取組 ~地域連携と子どもマルシェからのカリキュラムデザインを通して~ | 村井 徹志 | 徳島県勝浦町立横瀬小学校 | |
| | | | 4 | 単元構想にかかわる教師の力量形成 | 三原 茂 | 富山国際大学子ども育成学部 | |
| | 11号館131 | 19 | 1 | ゼロから創る生活科・総合的な学習の時間 | 清藤 望 | 埼玉県朝霞市立朝霞第六小学校 | 齋藤 等 (東京成徳大学) |
| | | | 2 | 未来を拓く主体としての自覚を促すカリキュラム・デザイン | 鈴木 勝一朗 | 小平市立小平第八小学校 | |
| | | | 3 | 考える力を高めるカリキュラム・マネジメント | 和美 智教 鈴木 広太 | 岩手県盛岡市立緑が丘小学校 岩手県盛岡市立緑が丘小学校 | |
| | | | 4 | 「文脈(context)」と「節合(articulation)」 -高等学校探究学習における「地域魅力化」の構造と持続可能性への挑戦- | 井手 弘人 | 長崎大学 | |
| 11号館134 | 20 | 1 | 「ふるさと学習」の成果と課題-既存研究の整理から- | 初澤 敏生 | 福島大学 | 武山 朋子 (鎌倉女子大学教育学部) | |
| | | 2 | 活動理論をモデルにエージェンシーを育む総合的な学習の時間を考える-北海道U中学校「地域活性化プロジェクト」を事例として | 宮前 耕史 | 北海道教育大学釧路校 | | |
| | | 3 | 活力と魅力ある一宮町の創り手の育成 -ESDの視点に立ったプロジェクト型学習を通して- | 樋口 陽樹 | 一宮町立一宮小学校 | | |
| | | 4 | 総合的な学習の時間の実践力を高めるためのアプローチ 経験の浅い教員に向けた資質・能力の焦点化をはかる取組 | 川上 修司 | 大分県佐伯市立渡町台小学校 | | |

◆自由研究発表 グループ一覧 【グループ21～25】

| 会場 | 教室 | 発表順 | 発表テーマ | 氏名 | 所属 | コメンテーター | |
|----|---------|--------|---|--|---|---------------------------------|-----------------------|
| 相模 | 1号館135 | 1 | 小中学校の総合的な学習の時間ではどのように「課題の設定」をしているのかー小中学校の実践からの分類・検討ー | ○中村 哲也 四辻 伸吾 | 常磐会学園大学 大阪大谷大学 | 佐野 亮子 (東京学芸大学) | |
| | | 2 | 総合的な学習の時間の学習指導案における児童観・教材観・指導観の分析 | ○四辻 伸吾 中村 哲也 | 大阪大谷大学 常磐会学園大学 | | |
| | | 3 | 総合的な学習における質的評価の差異性に関する研究ーモデレーション研修の事例検討を通してー | 香田 健治 | 関西福祉科学大学 | | |
| | | 4 | 総合的な学習の時間における評価観育成に関する研究 | 浦郷 淳 | 長崎国際大学 | | |
| | 1号館141 | 1 | 地域とつながる総合的な学習の時間ー第5学年 築き上げてきたことを次の世代へー | 島仲 京子 | 海老名市立大谷小学校 | 竹田 惇子 (元 横浜市立大岡小学校) | |
| | | 2 | 地域の一員として自分たちにできることー「 脊振をもりあげよう 」の実践を通してー | 古賀 絢香 | 佐賀県神埼市立脊振小学校 | | |
| | | 3 | 地域の魅力を再発見し、再構築の核となるために出会いの種をまく子供たちー多様な人と互恵性を味わい合える総合的な学習の時間の実践を通してー | ○佐藤 梨恵子 野口 徹 | 朝日町立大谷小学校 山形大学 | | |
| | | 4 | 地域の課題に目を向け、地域のために行動できる児童の育成ー協働的な学びを取り入れたESDの推進を通してー | 辰馬 基倫 | 鴨川市立天津小湊小学校 | | |
| | 女 | 1号館144 | 1 | 「ミライ創生科」が変えた子どもたち、教員、そして学校ーエンゲージメントからエンパワメントに向かう子どもたちー | ○滋野 哲秀 谷垣 真実 | 龍谷大学 高槻市立玉川小学校 | 玉虫 麻衣子 (横浜市立大鳥小学校) |
| | | | 2 | 主体的に学び続ける児童の育成 | 一柳 聡志 | 名古屋市立神宮寺小学校 | |
| | | | 3 | 思いや願いを明確にもち、学習対象に 繰り返し関わろうとする子どもの育成 | 笠原 成晃 | 山梨大学教育学部附属小学校 | |
| | | | 4 | 自ら学びに向かい続け、仲間とともによりよい考えを創り出す児童の育成ー児童の思いや願いの連続性を大切に授業づくりを通してー | ○奥村 浩平 大山 夏生 | 各務原市立川島小学校 愛知教育大学・岐阜聖徳学園大学 | |
| | 子 | 1号館145 | 1 | 自分発・自分行ー学びを自分事として捉え、本気で学び続ける子どもを目指してー | 西川 祐平 | オホーツク地区生活・総合的な学習教育連盟 | 門倉 りえ (竹原市立荘野小学校) |
| | | | 2 | エージェンシーを発揮する子どもの育成ー責任を譲渡する総合的な学習の時間の実践を通してー | ○大塚 進真 藤上 真弓 | 山口大学教育学部附属光小学校 山口大学大学院教育学研究科 | |
| | | | 3 | 授業作りにつなげた評価の在り方を考えるー子どもの具体的な姿をとらえてー | 村上 智彦 | 横須賀市立衣笠小学校 | |
| | | | 4 | つながりによって育つ子供の姿ー合科的取り組みと振り返り活動に着目してー | 石山 博司 | 平塚市立旭小学校 (ニューヨーク日本人学校) | |
| 大 | 中部教室201 | 1 | 幼児期の学びや育ちを小学校へつなぐー遊びの共有方法を探るー | ○神里 友貴美 宮城 利佳子 名渡山 よし乃 金城 愛梨 | 与那原町立阿知利保育所 琉球大学教育学部 沖縄女子短期大学 南城市立大里北小学校 | 武藤 牧子 (元子ども青少年局 保育・教育支援課) | |
| | | 2 | 幼児期の学びを踏まえた生活科の単元づくりー「きせつとなかよし ふゆ」の実践を通してー | ○金城 愛梨 宮城 利佳子 名渡山 よし乃 神里 友貴美 | 南城市立大里北小学校 琉球大学教育学部 沖縄女子短期大学 与那原町立阿知利保育所 | | |
| | | 3 | 接続期における非認知能力の育成に関する研究 | 神谷 裕子 | 東海学院大学 | | |
| | | 4 | 保幼小連携における児童の抱える非柔軟性についての一考察 | 溝上 敦子 | 西日本短期大学 | | |

◆自由研究発表 グループ一覧 【グループ26～30】

| 会場 | 教室 | グループ | 発表順 | 発表テーマ | 氏名 | 所属 | コメンテーター |
|----------|----------|------|---|--|----------------------------------|--------------------------------------|---------------------------|
| 相模女子大 | 中等部教室202 | 26 | 1 | 総合的な探究の時間での地域との協働に向けての取り組み | 廣瀬 志保 | 山梨県立笛吹高等学校 | 神永 典郎 (白百合女子大学) |
| | | | 2 | 概念と社会情動的スキル獲得に関する評価研究 - 附属三原小学校第4学年のふりかえり記述をもとに - | 神野 幸隆 | 香川大学 教育学部 | |
| | | | 3 | 論点を定めて議論する協働学習の流れとポイント | ○塩飽 隆子 塩飽 康正 | 一般財団法人ジャパンアートマイル 一般財団法人ジャパンアートマイル | |
| | | | 4 | 地域と共に未来を拓く創造性豊かな子どもの育成 ～地域に親しむ体験から地域を創る体験へ～ | ○森江 一史 山口 ちづる | 熊本市教育委員会 熊本市立春日小学校 | |
| | 中等部教室203 | 27 | 1 | プログラミング的思考を発揮しながら、地域の方々と協働的に問題解決に取り組む子供の姿に関する研究 | ○近野 巧 野口 徹 | 天童市立寺津小学校 山形大学 | 中野 真志 (愛知教育大学) |
| | | | 2 | J.L.メリアムによる教材・方法・動機についての着想 | 西野 雄一郎 | 愛知教育大学 | |
| | | | 3 | 資質・能力時代の総合的な学習における教育目的論の重要性 - 教育目的論からみたシカゴ大学時代のデュイの教育論の分析をもとに - | 中村 仁志 | 岡崎女子大学 | |
| | | | 4 | 教職科目「特別活動及び総合的な学習の時間の指導法」においてICTを用いた教育方法の検討 | 藤原 靖浩 | 関西福祉科学大学 | |
| | 中等部教室204 | 28 | 1 | 一人一人に探究を促す事例研究 | 水本 浩徳 | 青梅市立第一小学校 | 中嶋 孝幸 (北海道教育大学附属札幌小学校) |
| | | | 2 | 生活科教育の展開を支えた大学教員のオールストーリー - インタビュー調査を通して - | ○渡邊 巧 白井 克尚 村井 大介 岡田 了祐 | 広島大学 愛知東邦大学 静岡大学 お茶の水女子大学 | |
| | | | 3 | 自由学校における「プロジェクト」の実践は、若手教師にいかなる学びをもたらすか | 大村 龍太郎 | 東京学芸大学 | |
| | | | 4 | 大学生の体験活動を取り入れた「生活科」講座の試み | 根本 裕美 | 日本女子大学 | |
| | 中等部教室205 | 29 | 1 | 「内容」を問わないレポート「形式」 | 安藤 理 | AIA高等学院 | 藤井 千春 (早稲田大学) |
| | | | 2 | 「総合的な探究の時間」における高大連携の支援体制に関する一考察 | 横江 信一 | 石巻専修大学 | |
| | | | 3 | STEAM教育のための教員研修プログラム - フィンランド国立教育研究所のプロジェクトチームの取り組みを事例に - | 伏木 久始 | 信州大学 | |
| | | | 4 | 総合的な探究の時間の現場における校長のビジョンとリーダーシップ | 園田 哲郎 | 岡山県立津山東高等学校 | |
| 中等部教室206 | 30 | 1 | 地域の力を信頼し、生徒を放つ探究活動 - 学校の壁を超えた「高校生による居場所づくり」の実践を通して - | ○井上 敦夫 野口 徹 | 山形県立山形中央高等学校 山形大学 | 鎌田 明美 (徳島県勝浦町立勝浦中学校) | |
| | | 2 | 高等学校における「総合的な探究の時間」の高度化へのアプローチ | 木下 花子 | 山梨大学教職大学院(山梨県立吉田高等学校) | | |
| | | 3 | 教師の総合的な学習の時間への意欲的な取り組みを生み出すコーディネートの方 | 小池 聡子 | 福島県福島市立森小小学校 | | |
| | | 4 | 大学研究者と附属学校とが協働で創る生活科の教科論 | 加納 誠司 | 愛知教育大学 | | |

◆自由研究発表 グループ一覧 【グループ31～35】

| 会場 | 教室 | 発表グループ | 発表順 | 発表テーマ | 氏名 | 所属 | コメンテーター |
|-------|----------|--------|-----|--|--------|--------------|------------------------|
| 相模女子大 | 中等部教室207 | 31 | 1 | 生活科指導法における模擬授業の実践と課題-AIテキストマイニングを用いた分析から | 岡野 聡子 | 奈良学園大学 | 中村 祐哉 (熊野町立熊野第一小学校) |
| | | | 2 | 「本物の体験」をとおして『探究』し続ける資質・能力を育成する生活科「2Bふわみちゃん(ヒツジ)とZOOっと!」 | 田中 伸一 | 和歌山大学教育附属小学校 | |
| | | | 3 | 学校教育目標の実現に向けたカリキュラム・マネジメント ―総合的な学習の時間を中核としたカリキュラム・デザインとカリキュラムの評価 | 横田 美紗子 | 野田市立柳沢小学校 | |
| | | | 4 | 幼児期までの学びと育ちを生かしたスタートカリキュラムの実現に向けて―保育所訪問を手掛かりとして― | 高橋 浩司 | 愛知教育大学教職大学院 | |

課題別研究発表

■会場 相模女子大学

相模原市立谷口台小学校

1日目 6月17日(土) 15:30~17:00

| 分科会 | テーマ | コーディネーター | 発表者・登壇者等 | 会場 |
|-------------------|--|--|---|------------------------|
| 1 ハイブリット 会場 | 【令和の日本型学校教育の実現】 学校全体で子供たちの資質・能力を育成するために、生活科・総合的な学習/探究の時間を中核として、個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実をどのように実現するか | 三田 大樹 (西東京市教育委員会) 猪股 亮文 (宮城教育大学) | 鈴木 登美代 (京都府京都市立御所南小学校) 野口 徹 (山形大学) 宮崎 活志 (文部科学省) | 谷口台小学校 カラフルルーム |
| 2 ハイブリット 会場 | 【幼保小架け橋プログラムの開発・実践】 各地域や各校園でカリキュラムを創意工夫し、幼児教育と小学校教育の架け橋をどのように具現化するか | 宗形 潤子 (福島大学) 無藤 隆 (白梅学園大学) | 猪股 良継 (大分県竹田市立南部小学校) 観 寿子 (福井大学教育学部附属幼稚園) 鈴木 暁範 (神奈川県横浜市こども青少年局) | 相模女子大学 M本館 2131 |
| 3 | 【生活科における指導と評価】 生活科の時間における学びに向かう力・人間性等の育成に向けて、粘り強さや、学習の調整等どのように具体的に想定し、評価するか | 米持 武彦 (学校法人別府大学明星小学校) 久野 弘幸 (中京大学) | 坂口 静磨 (熊本市立託麻南小学校) 嶋田 恭子 (伊万里市立伊万里小学校) 大岡 俊哉 (新潟大学附属新潟小学校) | 相模女子大学 11号館 1115 |
| 4 | 【総合的な学習/探究の時間における指導と評価】 総合的な学習/探究の時間における資質・能力をどのように育成し、評価するか | 鈴木 美佐緒 (宮城教育大学) 加藤 智 (文部科学省/愛知淑徳大学) | 長谷川 剛 (兵庫県姫路市立別所小学校) 塩田 陸 (福島県立かたば未来学園中学校・高等学校) 清水 智貴 (広島県立三原高等学校) | 相模女子大学 3号館 314 |
| 5 | 【GIGAスクール構想下での生活科・総合の改善・充実】 生活科・総合的な学習/探究の時間において、子供自身が探究の過程でICTをどのように効果的に活用するか | 若村 健一 (埼玉県戸田市教育委員会) 村川 雅弘 (甲南女子大学) | 小原 広士 (北海道教育大学附属旭川小学校) 中川 斉史 (徳島県東みよし町立昼間小学校) 水田 貴光 (熊本県熊本市立北部中学校) | 相模女子大学 1号館 143 |
| 6 | 【探究の高度化・自律化】 探究の高度化・自律化をどのように進め積み上げるか | 廣瀬 志保 (山梨県立笛吹高等学校) 松田 淑子 (日本大学) | 岡部 泰基 (新潟県立海洋高等学校) 北村 徹 (福井県立美方高等学校) | 相模女子大学 1号館 133 |
| 7 ハイブリット 会場 | 【社会に開かれた教育課程の実現(開催地枠)】 生活科・総合的な学習/探究の時間を中核に据えて、社会に開かれた教育課程の実現をどのように目指すか | 相澤 昭宏 (鎌倉女子大学) 齋藤 博伸 (文部科学省) | 長澤 拓也 (神奈川県川崎市立橋小学校) 吉川 理子 (神奈川県横浜市立戸部小学校) | 相模女子大学 M本館 2132 |

2日目 6月18日(日)

開会行事 10:00～

全体会・シンポジウム 10:30～

閉会行事 12:30～

全体会テーマ

「問いをもち協働的に探究する子供の姿から 教育の未来を」

これからの教育には、予測困難で正答のない時代を生き抜くための資質・能力の育成が求められています。そのために、これまでの教育の歴史の中で積み上げられた財産を土台に、新しい教育の形を模索し創り上げていくことや学び手である子供自身が学びを創造し、新しい時代を生き抜く力を獲得することが必要です。そこで、令和5年度 第32回全国大会神奈川大会では、「つながり合う学びの創造」というテーマのもと、「つながり合う学び」について、10の姿を整理し、具体化して示すことを目標として取り組んできました。

今回のシンポジウムでは、第1日目の公開授業と研究協議、自由研究発表、課題別研究発表を通して、問いをもち協働的に探究し学びを創造する子供の具体的な姿から「つながり合う学び」の成果と課題を確認、考えを交流し、今後の教育につなげていくことができるようにしていきたいと考えます。

○神奈川の取り組みについて 荒木 昭人 (神奈川大会 研究部部長)

○シンポジウム

シンポジスト

鹿毛 雅治 (慶應義塾大学教授)

小島 亜華里 (奈良教育大学特任准教授)

青木 博子 (新潟市立沼垂幼稚園園長)

コーディネーター

田村 学 (國學院大学教授)

大会に関する注意事項

(必ずご確認ください)

- ① 参加者の安全と「感染防止」を最優先に考え、オンライン配信と参集を併用したハイブリット形式にて開催することといたしました。今後の感染状況に応じて、開催方法に変更が生じる可能性がありますので、あらかじめご了承ください。最新情報は随時、HPにてご確認ください。

<<https://www.kanagawa-seikatu-sougou.com/>>



- ② 参加申し込みは各個人でお願いをします。本大会 HP に記載されている URL および QR コードよりお申し込みをお願いします。入力情報にお間違いのないようお願いをします。
(郵送物や連絡等の誤りを防ぐためにご確認ください。)

- ③ 当日、発熱や風邪症状など体調がすぐれない場合は来場参加をご遠慮ください。
なお、5月20日以降対面参加を申し込みされた方には、後日資料を送付いたしますのでご了承ください。

- ④ 来場参加者の皆様には感染症予防の観点より、園児・児童・生徒の活動場所では、マスクの着用のご協力をお願いいたします。また、参観中および集合時の大きな声での会話はお控えください。

- ⑤ 来場参加者による撮影について、公開園・校の意向を踏まえ、園児・児童・生徒の撮影は禁止とさせていただきます。ただし、個人情報が入っていないものに限り、掲示物や板書については撮影可能です。
また、運営側が記録用として撮影する場合がありますのでご了承ください。(「記録」の腕章を付けています。)

- ⑥ 公開保育園、公開授業校には、駐車場の準備はありません。各種公共交通機関をご利用ください。なお駐車場ご利用の際は相模大野駅前周辺のコインパーキングをご利用ください。

⑦ 大会参加に当たって

○大会参加に当たり、本大会サイトからの申し込みいただき、対面参加の方は、各自で参加申込チケットを印刷してお持ちください。1日目の受付にて、参加申込チケットを確認後、チケットホルダー等を配付いたします。

(5月20日以降の申し込みの方は、併せて研究紀要を配付します。)

※ なお、事前に郵送された研究紀要は、各自でお持ちください。

○1日目(2日目)のみや自由研究発表のみ等、部分参加の参加費設定は行っておりませんのでご了承ください。

○当日受付も可能と致しますが、研究紀要や当日配付の指導案等は、名札確認による事前申込者優先配付とし、なくなり次第配付できなくなります。

○大会1日目は、各自スリッパ等上履き、靴入れをご用意ください。